

第1四半期
橋梁設計

オリコン6.7億円で首位

国交省など受注堅調

今年度第1四半期の橋梁設計受注額は約19.8億円だったが、企業受注額ではオリエンタルコンサルタンツが約6.7億円で首位だった。前年同期を注ぎ手がほぼ同じの状況で、ランキング入りした上位各社は国交省など1件おりの金額が高い案件を順調に受注しており、国交省および高速会社の同期間の受注額約55億円の4割にあたる約28億円を上位10社が受注した。

最前線を探る

同期間の設計案件発注は、高速会社などからの発注は約2000件、約55億円の約10.8億円に上った。受注ランキング上位10社の受注合計額は約19.8億円、

整の有明海沿岸道路大島高架橋を約9300万円受注したのをはじめ東北地整や関東地整などの橋梁点検で約2億円を受注。自治体では東京都西部や富山市などの補修設計、点検などを受注した。

2位長大も件数では半分にあたる10件、金額では7割にあたる約4.3億円を国交省と高速から受注。近畿地整の大野油坂道路箱ヶ瀬西高架橋(約1.2億円)、神籠川(約1.2億円)を注した。

4位パシフィックコンサルタンツは近畿地整の南部地区橋梁点検(約1.8億円)を受注16件中9件を国交省と高速会社から受注。金額では8割を占めた。

5位復建技術コンサルタンツは東北地整からの受注が5件約1.0億円と受注額の半分以上を東北地整での強さを見せた。

また7位エイト日本技術開発と8位ウエスコは国交省と高速会社からの受注が少な／＼、東京および中国地方の自治体からの受注が多くなっていた。

第1四半期 橋梁設計受注ランキング (単位:百万円)

順位	企業名	受注総額
1	オリエンタルコンサルタンツ	672
2	長大	615
3	大日本コンサルタント	513
4	パシフィックコンサルタンツ	484
5	復建技術コンサルタント	367
6	建設技術研究所	363
7	エイト日本技術開発	310
8	ウエスコ	282
9	橋梁調査会	279
10	日本工営	278

は約1億円で受注額全体の30%にあたる。そのうち国交省および高速会社などからの受注は約28億円を占めた。注金額の割合を占めた。国交省関係では九州地

3位大日本コンサルタントは受注11件と件数では最も多かった。うち国交省と高速が13件約3.8億円とやはり受注総額の7割を占めた。特に西日本高速など高速会社の耐震や補修設計を4件約1.5億円受注したのが目立った。自治体では東京都の夢の島大橋補修設計(約1700万円)や山形県米沢市の市道米倉東根線橋梁(約1600万円)のほか富山県から7件約8000万円を受注した。